

# 物流マツチング会社を襲った火災の後遺症

## トランコム

2位に急浮上したトランコムは名古屋市の物流会社。10日午前に同社が保有する愛知県内の冷蔵倉庫から出火、

関連会社の男性社員が死亡した。原因は分かっていないが、投資家は火災の影響を探ったもようだ。同社は、トランコムと荷物をマッチングさせるビジネスモデルを構築し、注目されてきた企業。運送会社からトラックの空車情報を集め、運びたい荷物がある荷主の情報と付け合わせる。運送会社は空っぽで帰るトラックが減り、荷主は荷物を安く運んでもらえり、重宝されてきた。地味な内需サービスでありながら、株主に占める外国人投資家の比率は3割と高い。成長への期待は、国内にとどまらないのである。

企業価値検索サービス

## ユーレット アクセス上昇ランキング

(5月10～16日)

ただ、不況の影響はモロに受けている。09年3月期は10年連続増収を達成したものの、世の中はモノが売れず、荷物の量も減っている。純利益は5円だった。4%減の15億400万円だった。

そんなときに火災事故で死者。後遺症が心配される。

	銘柄	取引所	株価(円)
1	コスモスイニシア	ジャスダック	39
2	トランコム	東証2部	1023
3	凸版印刷	東証1部	787
4	武富士	東証1部	558
5	日本精工	東証1部	442

\*15日終値。http://www.ullet.com/

ユーレット 上場企業400社の決算書を複数年にわたりデータベース化したサイト。売上高や営業CFなど、さまざまな角度から企業の経営を分析し、ワンクリックで他社と比較できる。経営方針の転換や経営リスクの高まりなど、市場が注目する銘柄のアクセスが増える傾向がある。